

# アオコ発生状況確認位置図

平成30年8月2日  
巡視時刻 9:00~10:00

凡例(見た目アオコ指標)

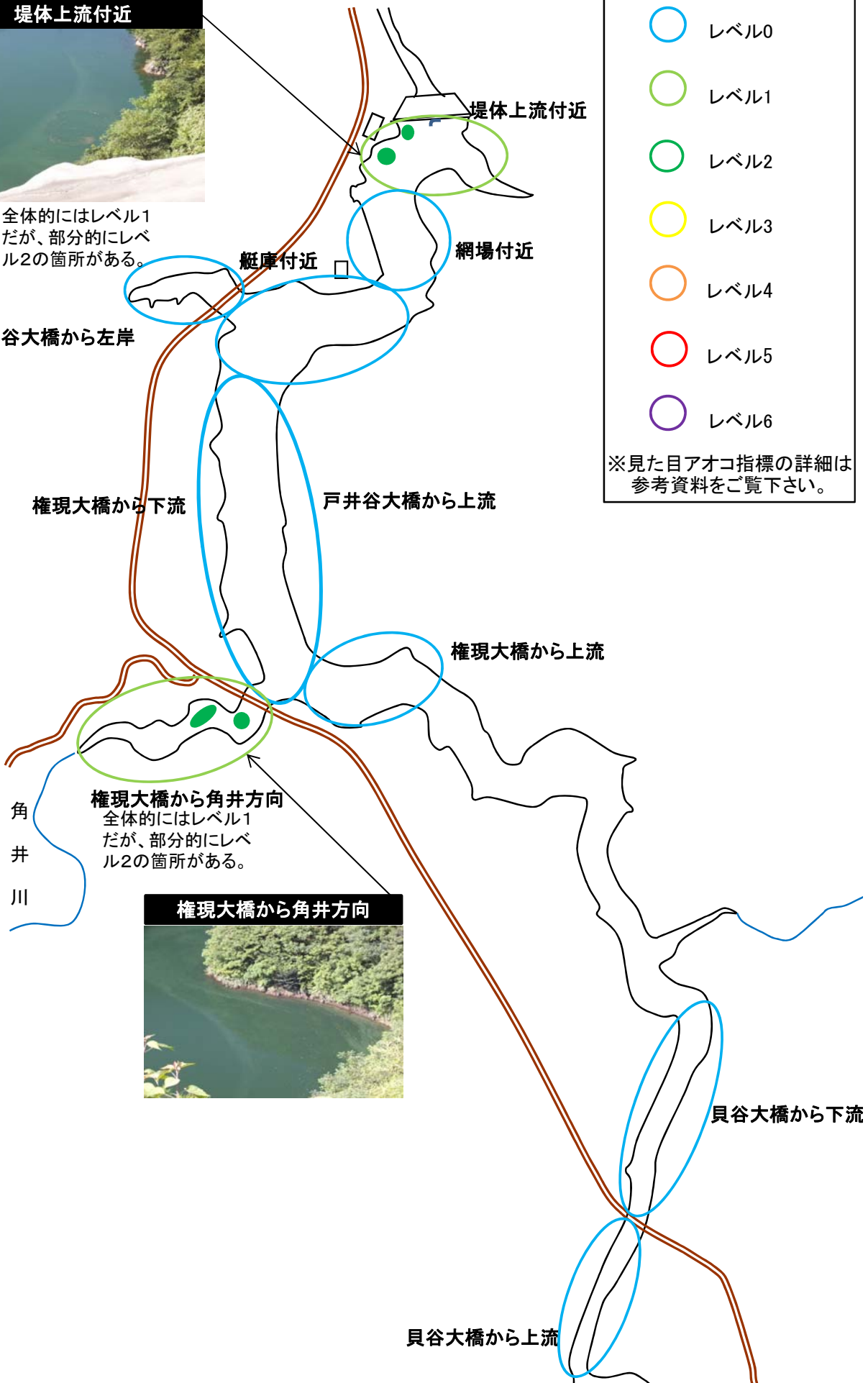
- レベル0
- レベル1
- レベル2
- レベル3
- レベル4
- レベル5
- レベル6

※見た目アオコ指標の詳細は参考資料をご覧ください。



堤体上流付近

全体的にはレベル1  
だが、部分的にレベル2の箇所がある。



戸井谷大橋から左岸

権現大橋から下流

戸井谷大橋から上流

権現大橋から上流

角井川

権現大橋から角井方向  
全体的にはレベル1  
だが、部分的にレベル2の箇所がある。



権現大橋から角井方向

貝谷大橋から下流

貝谷大橋から上流

	
<p>レベル0： アオコ発生は確かめられない。</p>	<p>レベル4： 膜状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル1： アオコ発生が肉眼では確認できない。 (ネットで引いたり、白いバットに汲んで良く見ると確認できる)</p>	<p>レベル5： 厚くマット状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル2： うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる。 (アオコがわずかに水面に散らばり肉眼で確認できる)</p>	<p>レベル6： アオコがスカム状(厚く堆積し、表面が白っぽくなったり、紫・青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>見た目アオコ指標</b></p> <p>湖内で一番集積量の多いところ、多い時間帯でその量を以上のようなレベルで分ける。</p> <p style="text-align: center;"><b>国立環境研究所 霞ヶ浦研究会</b></p>
<p>レベル3： アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている。</p>	

出典：国立環境研究所「見た目アオコ指標」